

ごめんやす

同窓会訪問記・三中三十二回

平成十七年六月二十三日・平安会館

平成十七年六月二十三日、平安会館「扇の間」に集まった京三中三十二回卒業生京三中・山城高同窓会々々長江羅寿夫氏、京三中・山城高同窓会東京支部長の竹岡勝美氏、百年記念誌編集委員長野村隆一氏をはじめ二十五名が出席されました。

受付では出席者名簿、欠席者と近況名簿、京三中三十二回同窓生名簿が配られました。

開会挨拶で江羅氏は百年事業への協力を強く訴えられました。年度幹事さんから会計報告がされたあと、来年の百年記念会で会えるように頑張ろうと乾杯されました。

当時の藤森校長先生、トンガラシと言われた五十嵐先生など三中時代の懐かしい話題に花が咲きました。

三中に入学して登校初日に竹刀の先で帽子をチョイッとひっかけ取られ剣道部に連れていかれ入部。来る日も来る日も登校すると竹刀の先でチョイッと帽子を取られ、思い出は剣道部のことしかないという高岡氏の話に、会場の皆が大笑いをされました。

最後に京三中校歌と応援歌が合唱されましたが、張りのある大きな歌声に感動して私は会場を後にしたのでした。